

# 2017(平成29)年度 一般入試問題講評

## 3教科方式

### 国語

一【解答】

問一 ①喚起 ②臨 ③活字 ④手掛 ⑤夏至

問二 ⑥れんか ②ものう ③そうしつかん ④あらわ ⑤きじょう

【講評】高等学校の教科書で使用されているものばかりで、全体的によく出来ていました。

二【解答】

問一 オ 問二 ッ 問三 エ 問四 イ 問五 オ

問六 自分を背後から狙っている者がいること(「こと」はなくても可)

問七 ッ

問八 (1) 対戦車自爆器(「ダイナマイト」も許容) (2)[解答例]背後から鶴に忍び寄り、銃で撃とうとした獵人

問九 逃亡

問十 (1)ア (2)エ

【講評】正答率が高かったのは問五・六・七・九です。問二は三字熟語の意味、問十は第二次世界大戦後の文学史を問う、基礎知識の問題です。問一・三・四は語句が含意するものを問う問題で、前後の文脈に照らして判断します。たとえば問一の傍線部に「緊張した」とありますが、前後が“生命力あふれる自然の中で人々が平和な日常生活を営んでいる”という文脈なので、この「緊張」はネガティブな意味でなく、人々が気持ちをひきしめている様子です。問八は文学作品特有の隠喩的表現を読み取る問題です。「迫って来る死神」とは“生ける者に逃れがたく迫り、死をもたらすもの”であり、本文前半では「私」たち日本兵に爆死を強要する「対戦車自爆器」が、本文後半では「私」が特別な思い入れを抱く「鶴」に忍び寄って銃で撃とうとする「獵人」が当たります。

三【解答】

問一 ①ウ ②イ ③オ 問二 aキ bコ cカ dイ eオ

問三 (1)オ (2)エ (3)ウ

問四 オ

問五 イ

問六 下の講評を参照。

問七 ア・イ

問八 更級日記

【講評】問一は古文の基本単語の理解を問う問題で、②はよく出来ていました。問二は基本的な文法問題で、全体的によく出来ていました。問三は主語を問うもので、敬語の使用や文脈から正確に読解出来ているかを確認する問題です。問四・五は、文脈読解を問うています。問四は、直前にある豊後介の会話文がヒントです。問五は、前後の文脈が“その男は見覚えがあるが、年をとって様子が変わっていたのですぐにはわからない”というものであることを読み取ります。問六は、波線部が「どこから参上したのだ」という意であることを理解した上で、右近に再会した三条の驚きの気持ちを解答にまとめます。問七のAは高い正答率でした。問八は基本的な文学史の問題です。

四【解答】

問一 Aウ Bエ Cイ Dカ Eオ

問二 aウ bエ cエ dア eイ

問三 下の講評を参照。

問四 オ

問五 絵画や彫刻～刺激できる

問六 ウ・オ

【講評】全体的によく出来ていました。問一は前後の文脈から判断します。Dはエとする誤答が目立ちましたが、ここは「美の三元素」をまとめた後に続く段落なので、話題を転じる「いっぽう」は不適切です。問二は、論説文で使用される基本的な語句の意味を問うています。問三の「情報の縮減」は、直前の指示語が「これは、みずからを～進化してきたのである」の部分を指すことをふまえてまとめます。問四は、この文章のテーマにかかわる問題で、筆者はヒト一般に当てはまる共通の概念について論じています。文中に何度も出てくる「恒常的」「本質的」という言葉もヒントになります。問五は、波線部を含む段落がフェルメール、ミケランジェロの具体例を挙げた後で要点をまとめている点に着目します。問六は全体の論旨を問う問題です。

※ 正答(例)は一部の問題について掲載しています。
※ 2018年度入試より一般入試(3教科A方式)

### 英語

例年通り総合的な英語力を問う大問3題の出題ですが、そのうち一つが会話文になったのが今回の新しい傾向でした。日頃から教科書その他で色々な英語の文章に触れていると思いますが、受験に際してはそうした文章でよく使われている語彙や構文を意識的に学習することとあわせて、話のテーマや要点をきちんとおさえたり、会話の場面の展開を正しくイメージする力を身につけるようにしてください。

I. 【解答】

問1. (A) relevance (B) ease (C) pursuit (D) productivity

(E) recommendation (F) suggestion

問2. (ア)1 (イ)2 (ウ) 正答なし[下の講評を参照] (エ)3 (オ)5

問3. (1) a (2) a (3) d (4) c

問4. (ア)× (イ)○ (ウ)× (エ)○ (オ)○ (カ)×

問5. 5

【講評】学校や家庭での学習を深く突りのあるものにするためには、子供を成功に向けて駆り立てるのではなく、幸福感を持たせることが重要であることを論じた文章です。問1は派生語、問2は決まった言い方の中で用いられる語句を選ぶ問題。いずれについても一つの単語を覚えるときに、辞書を活用するなどして派生語や前置詞句、動詞句と一緒に覚えるようにすれば学習の効率が上がると思います。[なお、問2は訂正前の問題文で最も適切な「前置詞」を選ぶ指示になっていましたが、(ウ)で正解とするはずだった6(show upのup)は前置詞ではなく副詞でしたので、(ウ)については全員正解としました。] 問3と問4は、英語特有の言い回しを取り上げた問題。おおむね前後の文脈で推察できるはずです。

II. 【解答】

問1. ア d イ a ウ d エ a

問2. (1) d (2) a (3) c (4) c

問3. 3番目 E 5番目A

【講評】新傾向の会話文の出題で、今回はIの問題文と共通する話題についての会話になっています。問1は会話ならではの相づちやつなぎ言葉の問題。どれも日常的に使われるものです。問2はIの問3と同様、英語独特の言い回しを取り上げた問題。問3は要点の把握で、大体よくできていました。

III. 【解答】

問1. (1) ア (2) ア (3) イ (4) エ (5) エ (6) ア

問2. (ア)1 (イ)1 (ウ)1 (エ)4

問3. 3

問4. それらの物語は私たち自身についてとても多くのことを物語るが、それだけでなく、私たちの世界との関わり方、そして、結果的に世界の私たちとの関わり方を形作る。

問5. 下の講評を参照。

【講評】物語というものが日常生活や社会のありとあらゆる場面で語られていること、そしてそれが現実を作り上げるのにいかに積極的な役割を果たしているかを論じた文章です。問1は時制、能動態と受動態、主語の人称・数による語形変化など、動詞に関係した英文法の基本を問う問題。eachは単数扱いであることに注意してください。問2はやや難しめの単語やフレーズを取り上げたもので、たとえその言い回し自体を知らなくても、文脈から推測できるとよいです。問3は「機会が多い」ということは「頻繁」であるということになります。問4の英文和訳は、構文や語彙をきちんと学習して身につけている人とそうでない人で結果が大きく分かれました。問5は、毎年出題される自由英作文です。日頃から色々なテーマについてまとまりのある英語の文章を書く練習を積み重ねることに加えて、本番では何を書くことが求められているか、注意深く問題の指示を読むことが必要です。今回は殆どの人が賛成か反対か自分の意見を言葉にできていましたが、その理由となる例を挙げていない解答が時々見受けられました。

### 歴史

#### 日本史

I 【解答例】

問1 ア 筑紫 イ 聖徳太子 ウ 平将門 エ 天慶 オ 前九年 カ 霜月
キ 本能寺 ク 陽明 ケ 奇兵隊 コ 征韓 サ 江藤新平 シ 明治 ス 大逆

問2 Af Bu Cj Dm Ee Fi Gl Ht Iv Jx Ky Lw

【講評】

反逆者・謀反人として知られる人物を切り口に古代から近代までの基礎知識を尋ねる問題です。全体的に難度が低かったので正答率は高かったのですが、問1サの江藤新平を「工藤平助」とする誤答が散見しました。イは「厩戸王」や「厩戸皇子」なども正答にしました。〈厩〉の字体は通用略字も許容し、多少の揺らぎも容認しました。

II 【解答例】

問1 (A)坂上田村麻呂 (B)源頼家 (C)源実朝 (D)足利尊氏

(E)足利義満 (F)足利義昭 問2 (a)木綿 (b)新田氏

(c)関東管領 (d)雑訴決断所 (e)鎌倉将軍府 (f)太政大臣

(g)関白 (h)恒居倭 (i)狩野永徳 (j)藤原隆信 問3は省略します。

【講評】

IIは鎌倉時代から戦国時代までを中心とした問題です。全体を通じて例年より正答率が高かったようです。問1の(F)については「足利義昭」が正解ですが、「高時」や「慶喜」といった他の時代における最後の幕府首班と混同している解答が目立っており、また、テレビゲームの影響か「義輝」との解答も散見しました。ごく僅かながら「義秋」との表記もありましたが、史実の上でそう名乗っていた時期もありますので正答となります。

III 【解答例】

問1 アー老中 イー京都所司代 ウー柳沢吉保 エー田沼意次

オー水野忠邦 カー徳川慶喜 問2 ③ 問3 ② 問4 ④ 問5 ③

問6 ① 問7 ① 問8 上知令 問9 ② 問10 ②

問11 将軍・摂政・関白を廃止して、総裁・議定・参与の三職をおき、参与に諸藩を代表する藩士を入れた雄藩連合の形をとった。

【講評】

IIIは江戸時代の政治史を中心とした問題です。問1ではイ、問2から問10では、問2、問8、問9などの正答率が低かったようです。問11では、「参与に諸藩士を入れた雄藩連合」という文章を入れてほしかったのですが、ほとんどいませんでした。

IV 【解答】

問1 アー金玉均 イー日英 ウー(第二次)大隈重信 エー蔭介石

オー張作霖 問2 a-③ b-③ c-④ d-① e-② f-③ g-②

h-① i-③ j-④ 問3 (1)下関 (2)(官営)八幡製鉄所 (3)日比谷焼打ち事件 (4)米騒動 (5)西安事件

【講評】IVは、日清戦争から満州事変にかけての対外戦争に関する文章を読み、設問に答える問題です。正答率は70%弱で、ほぼよく出来ていました。問1ウで「大隅」という誤答がやや多かったのは予想通りでしたが、問3(3)の「日比谷」を「日々谷」などとする解答が意外に多く、地下鉄日比谷線沿いの大学なのに…、と感じました。選択式の問2ではg(②は西原借款)とi(③の関東都督府は日露戦争後に設置)がやや難しかったようです。

## 総合小論文方式

## 総合小論文方式

人間が生きていく中で、他者との関わり、社会や家族、共同体としての繋がりがどのような意味を持つのかというテーマでの出題でした。問1では、子どもが誕生し育っていく中で、他者とのように関わるかについての文章を読み、そこで示されている「積極的態度」の例を7つ挙げることを求めました。該当箇所から素直に拾い出せば良いのですが、別箇所を見てしまったり、文中のポイントをうまくまとめられず同内容を2つに分けたり反対に2点を1つにしてしまうなどの誤りが見られました。問2は、社会格差や人間の利己性に関しての英文を読み、4択の中から内容に合致したものを選ぶ問題でした。正答率は8割程度と高かったのですが、この内容が問4での論述に活かされていない答案が多かったのは残念です。問3では、老親の扶養についての意識調査のグラフから

#### 世界史

I 【解答例】

問1 ウ 問2 エ 問3 ア 問4 エ 問5 エ 問6 オ

問7 エ 問8 オ 問9 エ 問10 ッ 問11 ア 問12 エ

問13 (A)アカ (B)イ オ ク (C)(a)アウグストゥスまたはオクタウィアヌス (b)専制君主としてユピテル神の権威の体现者を自称し、臣下にオリエント風の跪拝礼を求めた。 (D)(a)マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネから二つ (b)ギリシア語またはコイネー

【講評】Iはキリスト教の成立に関する出題です。正答率は問1～問12の空欄補充問題で高く、問13になると下がる傾向がありました。問13(C)(b)は難問ですが、キリスト教国教化へとつながるローマ帝国末期の政治と宗教に生じた重大な変化について問うています。(D)(a)は常識を問う問題でしょう。

II 【解答例】

問1 ①ケ ②ニ ③キ ④ク ⑤サ ⑥エ ⑦ツ ⑧ネ ⑨ハ

⑩シ ⑪ア ⑫カ ⑬ト ⑭タ ⑮イ ⑯コ ⑰ホ ⑱ヌ ⑲セ ⑳ヒ

問2 (1) 興中会 (2) 陳独秀 (3) 張作霖 (4) 盧溝橋 (5) 李登輝

【講評】IIは中国歴代の反乱に関する出題です。問1は全体的によくできていましたが、⑲(正答は「第三革命」のセ)はややむずかしかったようです。問2では、(3)張作霖と(5)李登輝がむずかしかったようです。ただ正答率が高かった(4)盧溝橋でも、溝を「溝」と書き誤るものが少なからずありました。

III 【解答例】

問1 ①ヌ ②チ ③ナ ④ソ ⑤ク ⑥ツ ⑦ネ ⑧シ ⑨タ ⑩ケ

⑪ニ ⑫ス ⑬ウ ⑭キ ⑮ト ⑯イ ⑰ア

問2 (1) a (2) b (3) a (4) d (5) b (6) a (7) a (8) c

【講評】IIIは、イスラム世界におけるトルコ系の人々の活躍についての問題です。地理的にも時代的にも広範囲を扱う問題でしたが、全体的によく出来ていました。とくに、適切な語句を入れる問1は、全問正解が何人かいました。問2では、(4)、(6)、(7)、(8)などは正答率が高かったですが、そのほかの問題はばらつきがありました。(5)では、レバントがイタリアに位置すると答える回答が目立ちました。

IV 【解答例】

問1 c 問2 b 問3 a 問4 c 問5 b 問6 e 問7 b 問8 a

問9 d 問10 d 問11 b 問12 c 問13 d 問14 b 問15 e

問16 b 問17 e 問18 b 問19 c

問20 植民地と本国の間の交易から他国を排除した航海法に見られるように、規制によって国家の商業利益を追求する政策

問21 アメリカの西部開拓における開拓地と未開拓地の境界線

【講評】IVは、イギリスの新大陸植民開始から、合衆国の独立を経て、フロンティアが消滅するまでのアメリカ史の流れを概観した問題です。問1～問19は基礎的な知識を問う出題なので、比較的出来が良かったようです。問20と問21では、言葉の意味を正確に理解することが求められます。問20では「重商主義」を正確に理解していない解答が見られました。問21では「西部の未開拓地」という誤答が多く見られました。

## 読解問題

## 読解問題

読み取れることを論述してもらいました。全体的傾向を見ずに書きたいところだけを書くなど「グラフを読んでいない」人が多く見られました。自分の先入観に注意して、資料と率直に対峙する姿勢は大学入学後にも非常に重要な資質です。問4は、近代社会での人間同士の関係性についての文章を読み、資料1～3も参考にし、人間と社会との関わりについて説明する問題でした。繋がりの中で私たちが生きていること、しかしそこに依存した生き方にも問題があるという点は理解されているもの、問4の文章要約に終わっていたり、逆に個人の意見に終始しているなど、うまくバランスが取れていない答案が目立ちました。資料をきちんと参考にし、読みやすさなど読み手を意識すること、そのために構成をしっかりと考えて書き始めることに注意していただきたいとします。